

職場体験 感想文コンクール2025

タイトル	働くことの意味を学んで	事務局	6-9
学校名	山形県酒田市立第一中学校	氏名	水元 孝星

今回初めての職場体験は、酒田市にあるダイカン物産株式会社で生コンクリートの製造に関わる仕事を体験させて頂きました。普段はあまり意識することのないコンクリートが僕達の生活の土台を支えていることを実感しました。初日は、ダイカン物産で行われている仕事内容を聞き、工場見学、現場へ行きました。課長さんから生コンクリートは水や砂、砂利、セメントなどを正しい割合で混ぜ合わせることが重要だと教えていただきました。他には、道路を作る上で機械の区域制限などの決まりを学びました。少しの違いでも強度や品質に影響する為、細かい作業を地道に取り組む社員の方が心強かったです。また、一人で取り組むのでは無く複数人で協力し合う大切さも感じました。

二日目は、現場へ行きました。最初は、2024年山形県酒田市での豪雨災害で被害にあった八幡へ行ってきました。雨が降ることによって川の水に置いてあるブロックが流れてしまうため、その都度作業している大変さに驚きました。このダイカン物産では生コンクリートの届けを行い、別の会社が工事を行う連携作業が凄かったです。次に別の現場へ行き、新しく会社の事務所を建てている現場を体験しました。ミキサー車に乗車させてもらい、生コンクリートを出す機械の操作をさせていただきました。生コンクリートを深い穴に入れるには、機械を使用しながらコンクリートの出す量を調整し、建築会社さんと協力することを学びました。その後は、検査室にてコンクリートを実際に使用する為の検査の体験をさせていただきました。検査室では、コンクリートの強度を測る為の試験や材料の配合を確認する作業を見学し、その後実際に機械を使用させていただきました。保管室で、コンクリートを固めた物を温度管理と共に保管してありました。これらは、依頼が入ったりなどの際に活躍する材料なので作る時に材料の調節が大変でした。

今回の職場体験を踏まえて、僕達の日常生活で使用している家や道路を作っている重要さを強く感じました。道路は、舗装コンクリートや歩行者の道路に対して役割を果たしていることが詳しく知りました。また、課長さんへ質問をした結果、「仕事につく上で将来の夢が決まっている人はしっかりそれに向かって勉強する」と良いとアドバイスをいただき、これからは活かしていきたいです。「生コンクリートは、どのような仕組みで作られているか」や「ミキサー車の仕組み」を詳しく知ることができました。僕は、将来大工になりたいので、今回学んだことコンクリートについてもうまく活用したいと思いました。

